

令和6年度 第1回羽島市立竹鼻中学校運営協議会 議事録要旨

|   |     |   |
|---|-----|---|
| 1 | 日時  | 令和6年5月30日(木) 午後1時30分～3時30分  |
| 2 | 場所  | 羽島市立竹鼻中学校 会議室 (北舎1階)  |
| 3 | 出席者 | <p>学校運営協議会委員 18名/21名</p> <p>松下 友幸(会長 地域コーディネーター竹鼻町 不二羽島文化センター顧問)</p> <p>小林 美雪(副会長 地域コーディネーター福寿町 元西部幼稚園園長)</p> <p>小森 博昭(竹鼻町自治会長)</p> <p>牧野 貞臣(竹鼻コミュニティセンター館長)</p> <p>後藤 昌美(竹鼻南コミュニティセンター協議会長)</p> <p>高木 和秋(竹鼻南コミュニティセンター館長)</p> <p>後藤 栄治(福寿コミュニティセンター協議会長)</p> <p>田中安志郎(福寿コミュニティセンター館長)</p> <p>大野 仁作(竹鼻町民生児童委員会会長)</p> <p>岩佐 和子(福寿町民生委員児童委員)</p> <p>馬場まさ子(竹鼻町主任児童委員)</p> <p>浅井 美子(福寿町主任児童委員)</p> <p>大野 一明(竹鼻町青少年育成推進員)</p> <p>松野 正治(福寿町青少年育成推進員)</p> <p>窄中 郁恵(竹鼻中PTA会長代理)</p> <p>近藤 真弘(羽島市教育委員会教育支援センター)</p> <p>平松 伸子(羽島市教育委員会教育支援センター)</p> <p>森山 健(本校 校長)</p> <p>安藤 宏(本校 教頭)</p> <p>米口真由美(本校 主幹教諭)</p>  |
| 4 | 議事  | <p>1. 開会の挨拶(学校長)</p> <p>2. 自己紹介</p> <p>3. 委嘱式及び会長・副会長選任、挨拶</p> <p>4. 授業参観</p> <p>5. 「羽島市新しい時代の学校構想検討委員会」進捗状況の報告<br/> 報告出席者 羽島市教育委員会 教育政策課 課長 小川 隆正 様<br/> 政策係長 岡田 真暢 様<br/> 専門員 豊島 博 様</p> <p>6. 学校経営の方針及び教育活動の現状について</p> <p>7. 意見交流</p> <p>8. 校長より</p> <p>9. 閉会の挨拶(会長)</p> <p><b>【開会の挨拶(学校長)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・203名の入学者を迎え、全学年6クラスの規模になった。</li> <li>・スポーツフェスタで、多くの参観者を迎え、子どもたち主体の取り組みができた。</li> <li>・スタートアップセレモニーや竹鼻祭りなど、地域と連携した取り組みを今年度も推進していきたい。</li> </ul> <p><b>【小中一貫教育について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中だけでなく、幼稚園も加えた活動の計画を進めていくことも大切である。</li> </ul> <p><b>【生徒の様子について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個で学ぶ姿、仲間と協働して学ぶ姿、学び方がどのクラスでも共有されており、子どもたちの深い学びにつながっている。主体的に学ぶ体制が確立されている。</li> <li>・フランクで安心感があり、感じのよさを感じる。・挨拶の音が小さく、元気がない</li> </ul> |

ように思われる。反面、にこやかに挨拶をする生徒が多い地域もあり、気持ちが良い。

- ・落ち着いたいて勢いがあるのは、校長の学校経営の方針がはっきりしていて揺るがないこと、地域の方が学校以外の場で子どもたちを認め、大事にしているからである。地域では世代交代や外国人の増加、学校では職員の異動がある中、現在のような学校の取り組みを継続させていきたい。
- ・教師と生徒の距離が近い。映像を駆使した資料を用いて対話型の授業が進められている。
- ・3年生が前を向いてしっかりと授業を受けている様子を見て、頼もしいと感じた。
- ・「教えて」という仲間に対して面倒くさがらず、教えあっている姿が素晴らしい。トイレのスリッパなども揃っており、落ち着いた環境で学習できている。
- ・校則を守って生活することができている。下駄箱の靴まで正しく整頓されていることは素晴らしい。
- ・いじめが減少している反面、不登校の数が増加していることに関して、不登校は「無理して学校にいかなくてよい」という風潮がある現代は難しい問題である。
- ・新しい制服の追加導入について、「選ぶことができる」現代の子どもたちは幸せであると感じる。
- ・ブレザーの追加導入について、制服の選択の違いがいじめに発展する可能性もあるのではないか。どんな傾向になるのか、注視していきたい。
- ・交通マナーへの意識が低い生徒を見かける。危険を感じる時もある。

#### 【学校行事について】

- ・スポーツフェスタでは、教師が中心ではなく、教師と協力しながら生徒が主体となって活動できていた。
- ・スポーツフェスタは昨年度より活気があった。個々も大切であるが、全体で行事を盛り上げていくことの大切さを生徒から教わった。良い雰囲気を進めることができていた。

#### 【地域について】

- ・地域の行事に生徒が積極的に参加してくれるようになった。今年度も地域の小学生、中学生、高校生と一緒に活動に取り組むことができるよう、協力を願いたい。
- ・生徒は、他中学の生徒と一緒に、協力しながら地域の一員としてボランティア活動に参加している。
- ・上級生から下級生に地域の伝統が引き継がれていることは素晴らしい。
- ・ボランティア活動への自発的な参加が多く、継続的に参加する姿も素晴らしい。
- ・いずれ来る「災害」に向けて、助け合いが大切になってくる中で、力があって知恵があり、知識もある中学生を地域で応援し、大切にしていけるべき存在である。「地域で役に立っている」と認められた子どもたちは、笑顔になり「何かをしたい」というエネルギーになる。そういった子どもたちがコミュニティを形成し、地域の役に立つ存在になっていく。そういう未来を担う存在を守る安全な環境を整えることが大切である。

#### 【校長より】

- ・ひだまりミーティングでそれぞれの立場で意見をいただき、繋がりを持っていきたい。
- ・「地域の中にある学校」である自覚をもち、経営に活かしていきたい。

#### 【閉会の挨拶（会長より）】

- ・今の竹鼻中学校、今後の、未来の竹鼻中学校について運営協議会で話し合うことができた。地域の中に位置づく竹鼻中学校という視点で考えていくことが大切である。

|   |         |  |
|---|---------|--|
| 5 | 決定事項    | R6年度 会長 松下 友幸 様<br>副会長 小林 美幸 様   |
| 6 | 連絡等     | 次回 第2回竹鼻中学校学校運営協議会 11月28日(水) 合唱フェスタ参観  |
| 7 | 教育委員会指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「青パト」で地域を回りながら「おかえり」と声をかけると、中学生は元気に返事を返してくれる。地域の施設もマナーを守って使用している姿を見かけて安心である。</li> <li>・一番生徒と接する時間が長い日々の授業の中で、生徒を認め、声をかけていくことを大切にしてほしい。</li> <li>・ICTの使い方等、幼時からの教育が大切である。ペアレントトレーニングも推進しながら、家庭との連携も図っていく必要がある。</li> </ul> |